

50周年を迎えたポルトガル語学科で

学科長 Mauro Neves

新入生の皆さん、ポルトガル語学科ようこそ！在学生の皆さん、新たな気持ちで新学期を迎えたことと期待しています。

ポルトガル語学科は、今年で発足 50 周年を迎えます。開設された 1964 年は、東京でオリンピックが開催された年です。このオリンピックを機に日本が目覚ましい経済成長を遂げはじめたと皆さんは様々な機会で学ばれたと思います。一方、同年にはブラジルで軍部によるクーデターが起こり、21 年も継続した軍政がスタートしました。軍政下では、ブラジルも 1970 年代に目覚ましい経済成長を試みました。更に、同年にはポルトガルが益々アフリカ（アンゴラ、モザンビーク等）における独立戦争に巻き込まれ、独裁体制は崩れ始めたとも言えます。

あれから 50 年が経ち、ブラジルは再び目覚ましい経済成長を遂げようとしています。そして今年にはブラジルでのサッカーのワールドカップを機に世界におけるブラジルのプレゼンスは益々強くなると期待されています。

今の世界におけるボーダー（国境だけではなく、様々な意味で）がグローバル化によってなくなりつつあり、一つの国に一つの言語と一つの文化という時代はなくなりました。

その時代に一つの言語を学ぶということは、ただ単に言葉を学ぶだけではなく、異文化のルーツを持つ人間同士の心をつなぐための橋を架けるということです。当学科で勉強するということは、その橋を架ける力になることに違いないと私たち教員全員が確信しています。特に 1 年目の基礎がとても重要です。諦める気持ちになる時も現れますが、楽しいことを踏まえて勉強をしてください。

2 年次生は、語学カリキュラムの中で最も内容が複雑で予習・復習が必要な年を迎えます。様々な授業を通して学んだ基礎を向上するように目指してください。

3 年次生は、学習してきたことを応用する年を迎えます。「総合ポルトガル語」という 10 科目の中から 6 科目を選出し、ポルトガル語で様々な資料を読み解いてコミュニケーションを向上するように目指してください。そのため、積極的に授業に参加することは不可欠なものになります。また、演習科目の履修も始まりますので、自分が興味ある分野を楽しく勉強しましょう。

4 年次生は、就職活動に頑張ることでしょう。しかし秋期に「コミュニケーション」と「プレゼンテーション」という必修科目がまだありますから、ポルトガル語を忘れずに過ごしてください。そして内定が決まり次第、学科へ報告してください。

この 1 年間を無駄にしないことは、自分自身次第だと忘れないように！私たち教員全員がサポートしますが、自分を生かすのかそれとも無駄にするのか、決めるのは自分自身です。

新入生の皆さん。ポルトガル語は勉強し始めたら理解できるようになる言葉ですが、皆さんがこの学科に入ったことは皆さんの *destino* でもあり、皆さんの *fado* を変えるチャンスでもあります。その *fado* / *destino* を嬉しく受け入れ、自分のためになることを期待しています。